

(任) 日本地質学会2009年度第1回定例評議員会議事録

2009年10月9日
日本地質学会評議員会
議長 保柳康一

日時：2009年9月3日（木）14：10—15：14

会場：岡山市コンベンションセンター（ママカリフォーラム） 405会議室
（岡山駅西口徒歩3分，岡山市北区駅元町1-14 電話086-214-1000）

出席者：会長 宮下純夫 副会長 高木秀雄 佃 栄吉

（評議員26名）阿部国広 荒戸裕之 大友幸子 川端清司 沢田順弘 柴 正博 新妻信明 保柳康一
堀 利栄 松本俊幸 脇田浩二 安藤寿男 岡 孝雄 小山内康人 佐々木和彦 高橋正
樹 滝田良基 松岡 篤 村山雅史 吉川敏之（理事9名） 渡部芳夫 井龍康文 上
砂正一 小嶋 智 斎藤 眞 向山 栄 藤本光一郎 藤林紀枝 矢島道子（事務局）
橋辺菊恵

欠席者 評議員（委任状13名）：伊藤谷生 磯崎行雄 磯野 清 永広昌之 北里 洋 狩野謙一 木村
学 公文富士夫 紺谷吉弘 芝川明義 中川光弘 松原典孝 山路 敦 山根 誠

欠席者 評議員（委任状なし5名）：卜部厚志 三宅康幸 足立勝治 丸山茂徳 渡辺真人 理事（5名） 石
渡 明 岩森 光 倉本真一 坂口有人 久田健一郎

* 出席者成立員数（20/39）に対し，出席20名，委任状14名で，評議員会は成立。

* 書記の選出 安藤寿男，佐々木和彦の両評議員が書記に選出された。

報告事項

1. 理事会報告

(1) 運営財政部会

1) 総務委員会（上砂部会長）

* 第1回～3回の理事会議事録参照。

・上砂部会長から，特許庁より特許法第30条に基づく学術団体指定を受けた旨の追加説明があ
った。

2) 会員委員会（向山担当理事）

・前回からの入会者数 130名

正会員 117名（うち院割 90），準会員 13名

・前回からの退会者 正会員 22名

・逝去者 4名 名誉会員 3名 正会員 1名

名誉会員 勘米良亀齢（4/6） 加納 博（6/6），松井 健（6/21），羽鳥謙三（9/2）

正会員 井田隆勝（6/6）

以上の逝去者に対し黙禱を捧げた。

・会員数

		賛助	名誉	正会員(内 院生割引)	準会員	合計
2009年	8月31日	30	75	4,221 (211)	31	4,357
2009年	3月31日	30	73	4,119 (235)	30	4,252
前回比		0	+2	+102	+1	105

3) 会計委員会（向山担当理事，佐々木委員長）

・8/28 会計委員会を開催。

法人移行に際しての支部の財産，引当金の整理等について検討。

・2009年度支部補助金の配分（会員数比例）。

北海道74,000円，東北76,800円，関東174,800円，中部110,400円，近畿93,600円，

四国71,200円，西日本99,200円

・IYPE日本委員会から2009年度の協賛金の要請があり2008年度と同様，25万円を支出予定。

4) その他

- ・ JABEE委員会 (天野委員長)
 - 日本技術者教育認定機構は一般社団法人を設立 (4/1) .
 - ・ 技術者継続教育委員会 (公文委員長)
 - ・ 地質科学関連学会連合 (藤本担当理事)
 - ・ 自然史連合 (斎木委員)
 - ・ 地理関連学会連合 (藤本担当理事)
 - ・ 地球惑星科学連合 (久田委員)
 - ・ 連合法人化整備委員会 (高木委員)
 - 8月28日の会員登録者総数は4777名. うち, 地質学会会員は789名 (地震学会984名に次いで2番目) .
- 5) 広報委員会 (倉本情報特任担当理事, 坂口担当理事・委員長)
- ・ IYPE 日本と共催で, 第1回惑星地球フォトコンテスト 2009 を実施中 (11/30 締切).
 - ・ フォトコンテストの記事を産経新聞 (東海・北陸・九州版) に広告を掲載, 掲載後同紙配布地域から6件の応募が確認されている.
- ニュース誌編集委員会
インターネット運営委員会

(2) 学術研究部会

1) 行事委員会 (斎藤担当理事・委員長)

岡山大会関連

- ・ JAMSTEC主催の一般講演会「地球深部探査船ちきゅうの活躍」の共催依頼 (9/6 岡山)
- ・ ラッシュ時混雑のため1日目 (4日) のみ貸し切りバスの運行を決めた.
- ・ 発表件数561件 (口頭発表287件, ポスター発表201件, シンポジウム8件 (口頭67件, ポスター6件))
- ・ 9月2日に岡山大会のプレスリリースを行った.
- ・ 情報展の開会式 (9/4) には宮下会長が出席の予定.

地質の日の事業

- ・ 5月10日に東京の科学技術館にて, 日本地質学会主催で市民講演会を開催
「火山はすごい! - 日本列島の火山をさぐる」 (講師: 鎌田浩毅会員)
大人から子どもまで, 90名が参加. 次年度も取り組む予定.

2) 国際交流委員会 (石渡特任担当理事)

- ・ 日韓地質学会交流協定の一貫として, 10月29日~31日に濟州島で開催される韓国地質学会の1st circular が送られて来た. また, 同会に宮下会長が招待される.
- ・ 高木副会長より, 上記内容を最新geo-flashで紹介するとの説明があった.
- ・ 宮下会長より, 交流を深めるためには地質学会も英語版のCircularの検討が必要であるとの助言があった.

3) 専門部会連絡委員会 (藤本担当理事)

4) 研究委員会

- ・ 南極地質研究委員会* (廣井委員長)
- ・ 地質環境長期安定性* (吉田委員長)

(3) 編集出版部会

1) 地質学雑誌編集委員会 (久田担当理事・委員長, 小嶋担当理事・副委員長, 岩森企画担当理事)

今月の編集状況は以下の通りです (8月31日現在)

115-08月号: 論説3 短報2 報告1 (60ページ・校了)

115-09月号: 特集号「プレート沈み込み帯と地震 (世話人: 廣野哲朗ほか)」 (65ページ・校正中)

2009年度投稿論文 総数 45編 [論説 24 (和文 24), 総説 3 (和文 3) 短報 15 (和文 14 英文 1), ノート 2 (和文 2) 報告 1 (和文 1)] 口絵 6 (英文 3・和文 3)

投稿数昨年比 -56

査読中55編 受理済み29編 (うち通常号11 特集号18)

特集号原稿があるので数年前よりは良いが, まだ原稿は少ないので投稿歓迎.

- ・ インパクトファクター (IF) 取得に向け, 準備中.
- ・ 引用文献の記述方式 (英文併記) が変更されたため, 会員に周知, 協力を依頼している.

- 2) アイランドアーク編集委員会（井龍担当理事・編集長，竹内編集事務局長）
- ・8月31日現在のIsland Arcの編集状況
毎年増ページしている．特集号の原稿が着実に投稿されている．
 - ・2008年のIFが前年の0.837から1.038に上昇．（2年間統計）
1.2程度（5年統計）が現況の実力，
 - ・IARの著作権の管理方針，（CTA）の導入について
地質学雑誌などと同様に著作権をW-B社に譲渡するということになるが，著作権の譲渡を希望しない著者は，30万円で著作権を買い取ることもできる旨の説明があった．
- 3) 企画出版委員会（藤林担当理事）
- ・刊行委員会委員を選出：高橋正樹（委員長），竹之内耕，清水康博，植木岳雪．9/5第1回委員会の開催予定
 - ・リーフレット企画出版手続きの検討・整備：リーフレット出版に関する規則の策定，企画提案書の書式・企画手続き，査読・刊行等の手続きについて検討．
・藤林理事より，委員会体制を確立して，出版活動を進めていく旨の説明があった，
- (4) 普及教育事業部会
- 1) 地学教育委員会（中井委員長，矢島担当理事）
【連合地学教育検討委員会】（渡辺委員）
・矢島理事より，阿部委員から渡邊正人会員に委員を交代したとの説明があった．
 - 2) 生涯教育委員会（柴委員長）特になし
 - 3) 地質基準委員会（新妻委員長）特になし
 - 4) 地層名委員会（天野委員長）
保柳議長(地層名委員)より9月6日に委員会が開催される予定であるとの説明があった．
- (5) その他理事会関係委員会等報告
- 1) 法務委員会(上砂担当理事・委員長)
・8月9日に法務委員会を開催した．法務委員会の審議内容については会長に報告をし，会長から当事者に返答した．
 - 2) 支部長連絡会議（高木副会長・担当理事）
9月6日に開催予定 12時～13時 法人化関連のご報告，支部の規則，支部の会計，その他
 - 3) 地質災害委員会(藤本担当理事・委員長)
今後の地質災害委員会のあり方については一般法人理事会で報告と議論の予定（藤本）．
 - 4) ジオパーク支援委員会*(委員長 天野，担当理事 高木) 簡単な紹介（高木）
・岡山でワークショップを9月5日に開催（ジオパークネットワーク共催，産総研地質センター後援）9団体が参加発表する．
・ジオパークを宣伝するためのポスターを作成，関係機関へ配布予定．
【ジオパーク日本委員会（高木副会長・委員）】
・8月22日に有珠，糸魚川，雲仙の3地域が世界ジオパークネットワーク（GGN）に加盟が承認された．
・2009年度の加盟申請（10月下旬 決定予定）
GGN加盟申請希望地域：山陰海岸・室戸・秩父
JGN認定希望地域：白滝黒曜石・恐竜渓谷ふくい勝山・阿蘇・天草御所浦・隠岐
なお，今年のGGN申請締め切は，12月1日
 - 5) 法人化作業委員会(渡部常務理事・委員長)
・7/11委員会を開催，選挙実施の検討をした．また，公益法人化についての現状について検討．これらについては，法人理事会でまとめて報告予定．
2. 評議員会関係委員会等報告
- 1) 各賞選考委員会(中川委員長)
 - 2) 名誉会員推薦委員会(佃副会長)
順調に推薦作業ができたことを総会で紹介．
 - 3) 男女共同参画委員会(堀委員長)
連合の男女共同参画委員会の動きも含めて，これまでの活動報告があった．
 - 4) アーカイブス委員会（会田委員長）

5) オンライン化委員会（斎藤担当理事・委員長）特になし

3. その他

1) IYPE日本委員会（佃副会長）

委員会は2010年3月末まで活動。今年度はとくに地質学会と共催でフォトコンテストを実施している。

2) NPO国際地学オリンピック日本委員会（久田委員長）

- ・9月14日台湾において国際地学オリンピックが開催される、11名（学生4名ほか）を派遣。
- ・久田委員長に代わり渡部常務理事より、委員会は2012年日本開催の準備開始を決定、9月の台湾で日本開催が正式に決定の予定、次回の評議員会で詳細を紹介予定とのことが、報告された。

3) 地質の日委員会（藤林担当理事・委員）

- ・本年度の全国の事業数は前年度より増加し、着実に活動を広げている。
2009年度 60機関で92イベント（2008年度 40機関で74イベント）

・事業は全国的に広がっているがさらに実績のないところでも広げようようにしたいと佃副会長よりコメントがあった。

4) 学術会議関連（木村連携会員）

4. 理事会審議事項報告（おもなもの、詳細は議事録参照）

1) 法人への移行についての諸問題の検討

2) 第四紀境界問題，国内対応などについて，

- ・6/29にIUGS理事会が国際層序委員会（ICS）による第四紀の下限を2.588 Maとすることを批准したことをうけて、これを会員に広報し、日本地質学会としての対応方針の検討案を作成することを地層名委員会（天野委員長）に理事会より諮問した。この件に関する担当は井龍理事とした。
- ・地質学雑誌やIsland Arcにおいては、当面、著者によって新旧どちらの基準に従うかを明記するようにする。
- ・渡部常務理事より、地質学会としての対応については地層名委員会の報告を受けて、12月の評議員会で中間報告する予定であるとの説明があった。

3) リーフレット出版細則案の検討，企画出版手続きの検討

4) IARの著作権の管理方針，Copyright Transfer Agreement（CTA）の導入について

*議事に入る前に議長より、出席者数、評議員会成立の確認があった。

評議事項

1. 任意団体の解散について

- ・5月の総会において今年度末をもって任意団体を解散し、一般社団法人に会員・財産のすべてを移行することが承認され、その方針で準備が進められていることが渡部常務理事から報告された。
- ・会計担当の向山理事より、学会財産の引渡・移行方針・引当金等の課税の可能性などについて会計委員会での検討内容の説明があった。
- ・事業準備引当金についての課税等の質疑があったのち、拍手で承認された。

2. その他

1) リーフレット企画出版細則案について

- ・この案件については法人の理事会で審議されることとなった。

以上